

#2341

春ウララの低山とお花畑

花嫁街道と烏場山

実施日 二〇〇八年三月二日(日)

天候 晴れ

リーダー 涌井 良明

参加者 上野キヨ、宮田貞子、佐藤金治、岩井康子、涌井良明

計五名

費用 交通費 7,780円(東京駅 起算)

コースタイム 東京駅(七時一五分)外房線特急安房鴨川(九時一五分)

〜九時二二分)J.R)和田浦駅(九時三九分)五〇分)花

嫁街道入口(時分)黒滝分岐(十時二〇分)第二展望台

(十一時五分)〜一五分)経文石(十一時二五分)じがい水

(十一時三五分)駒返し(十一時五十六分)十二時十五

分)昼食烏場山(十二時四十分)十三時一〇分)旧烏場

山展望台(一三時一五分)見晴台(一三時四〇分)十四

時)黒滝(十四時一五分)二〇分)黒滝入口(一四時二三

分)和田浦駅(一五時一〇分)一五時三四分)J.R)安房

鴨川駅(一五時五三分)一六時七分)外房線特急

冬場の好天限定バージョンで計画したが、まあまあ早春の一日をゆったり歩けた山行だった。道はコースを通じ整備されて非常に歩き易く、ハイキングの入門には絶好かも。但し、東京からはやや遠く交通費も日帰りではちょっと高くつく。

全員一人二座席を占有して外房線特急『わかしお』で安房鴨川へ更に内房線に乗換えて和田浦に、駅で今日のコース詳しい案内のチラシをゲットして駅前から道標に従い歩き出す。天候はぼんやりしたうす曇りで、登山者や行き交う人も少なく、すべてがのんびりした趣のスタートである。要所には『花嫁街道』を示す案内がこれだというくらい立てて



ありアップローチの心配はなかった。地元が力を入れてアピールしているのが分かる。満開の菜の花畑に見とれたりしながら、花嫁、花婿？が寄り添う道祖神が鎮座する黒滝への分岐を過ぎると、烏場山への山道(花嫁街道)になる。さほど急ではない窪地状の道を登って行くが、木々に絡んだツルや普段の山では見慣れないマテバシイなどが南国の山の雰囲気を感じさせる、第二展望台で一息つくが尾根の向こう側に海が光る。道はゆるく小さく登降しながら経文石、じがい水とポイントを通過するが、駒返しの展望台で空腹に耐えきれず昼食にした。ここからは僅かに盛り上がりを見せる烏場山が望める。山頂で昼食のつもりだったが、のんびりし過ぎたかな。休んでいると、雲も広がり風も冷たくなつたので早々に山頂を目指すことにした。明るく開けた第三展望台を過ぎ、短い急な階段を登り切ると標識と花嫁像に飾られた267mの烏場山頂に着く。しばし周囲の展望を楽しんだ。町並の先に輝く太平洋や内陸に連なる房総のなだらかな山々を眺めるが、山深さは感じず小じんまりとした山域といった風情である。



下山は花婿コースと名付けられた道を行く、こちらは少し傾斜のあるコースのようである、旧烏場山展望台からもう一度山頂を眺めてから、殆ど登りのない金比羅山を越し、171mの展望台で休憩後、急なところには階段がつけられた道をのんびりと下る、急な下りが終わる小広い広場の案内に従って黒滝へ降りる。落差15m程で水量は少ないので女性的というか上品な感じの滝である。山行の締めはこの滝は一服のアクセントを感じさせて好ましい。滝見物用に付けられた沢沿いの道から花園広場に出て、後は舗装路を今朝ほどの道祖神の分岐から往路を辿り和田浦へ出た。今日はちょっと遠いので反省会は省略して車中人となり本日は終了。皆様お疲れ様でした。

(記・涌井 良明)

